



令和2年度～令和6年度

令和2年2月4日

渋川学区まちづくり協議会

渋川学区まちづくり協議会

地域まちづくり計画

1 目的

渋川学区の目指す将来像を定め、その将来像の実現のために解決しなければならない課題を浮き彫りにし、その課題の解決に向けた取組みを行います。

まちづくり協議会というさまざまな団体などにより構成する組織において、当学区の現状を確認し、地域の強い（良い）ところ、弱いところを再度見つけ直し、さらに住み良い地域としていくために地域住民の皆さんと将来像の実現に向けた考え方を共有し、取組みを進めることを目的とします。

地域まちづくり計画は、5年毎に見直し、渋川学区の将来像実現の一旦を担い、行政と連携した協働のまちづくりを自主的に活動・運営する指針として策定します。

2 計画の位置づけと財源

第1期で5年後の将来像を定め、平成26年度から平成30年度まで、例年継続している基幹事業（ふれあいまつり、運動会、敬老会など）に加え、ふるさとづくり交付金・がんばる地域応援交付金・健康のまち草津モデル事業補助金を活用し、16テーマの新規事業に取り組んで参りました。この中の4事業（健康福祉事業、清掃ボランティア、防犯カメラの設置、多文化コミュニケーション）については、継続して取り組んでいます。

第2期については、令和2年度から令和6年度を計画期間とし、5年後の将来像を定め、現状の事業の見直しを行ったうえ、地域課題を解決する新規事業を加える計画と位置づけています。財源としては、令和3年度から令和5年度の3カ年に亘り、地域課題解決応援交付金を活用し、新規事業に取り組む予定です。

3 計画の策定体制

地域まちづくり計画は、渋川学区まちづくり協議会に地域まちづくり計画策定委員会（三役4名・部会より選出4名・事務局2名 計10名）を設置して策定し、理事会で承認します。

4 渋川学区の現状

渋川学区は、市の玄関口となるJR草津駅があり、その周辺には大型小売店舗や高層マンション等が多数立地し、中心市街地の一角を形成する地域であり、令和元年9月末で人口9,640人、世帯数4,319世帯を有する、市内でも比較的人口が多い学区です。高齢化率は17.2%で、市平均の22.0%と比べ低いものの、年々増加傾向にあります。

渋川学区でも、ほかの地域と同様、一人暮らしの高齢者の増加や少子化、核家族化の進行、共働き世帯の増加などに伴い、コミュニティの大切さがクローズアップされるなか、地域のみなさんが互いに連携・協力しながら、学区の個性が生かせるまちづくりを推進するため、平成24年12月に「渋川学区まちづくり協議会」を発足いたしました。

また、平成29年度から、渋川まちづくりセンターを活動拠点とし、指定管理者としての指定を受諾し、まちづくりセンターの管理運営を開始しました。今後も令和2年度からの第2期指定管理者を受諾する予定です。

5 地域の課題

渋川学区の特徴として古くからの在所にお住まいの住民と新しく開発された住宅地に転入された住民やマンション住民が、いかに協力し合って“新しい渋川”をつくっていくかが重要課題であり、笑顔でふれあうコミュニティの場の充実を図る必要があります。

また、経済的・地域的事業等から、親同士の交流が希薄化し、子育てに悩む、未就学児を持つ若い世帯が増えています。健康への不安もあり、地域行事への参加もできず、引きこもりがちな一人暮らしの高齢者が増えつつあります。そして、防災訓練事業を平成26年度から毎年実施してきていますが、いざという時の防災・減災対策や体制づくりを構築する必要があります。

渋川学区をもっと知り、どこで何を行っているかを目に見えるようにし、まちづくり協議会事業の運営における新しい世代の担い手不足を解消する必要もあり、このことは急務となっています。

6 地域の将来像「キャッチフレーズ」

～笑顔・ふれあい・思いやりのまち・渋川～

7 地域の基本方針（重点課題）

① 子育て支援の不足

～子育て支援の地域づくり～

② 健康・福祉への不安

～高齢者の健康福祉を支える地域づくり～

③ 防災・減災対策

～防災・減災体制の構築と人材の育成～

④ 地域コミュニティの危機

～事業の見直しと人材の確保～

8 取組み計画

① 子育て支援の不足

取組み名	取組み内容	実施年度					担当
		R2	R3	R4	R5	R6	
子育て支援の地域づくり	子育て世代の悩みを気軽に、安心して、話し合い・相談できる機会を身近なところに見つけられる雰囲気（場）づくりを提供	対応検討	実施				子ども育成部会

② 健康・福祉への不安

取組み名	取組み内容	実施年度					担当
		R2	R3	R4	R5	R6	
高齢者の健康福祉を支える地域づくり	高齢者が、それぞれに応じた方法で、健康で楽しく暮らせる様、身近な施設・設備・事業などの場づくりを提供		対応検討	実施			健康福祉部会

③ 防災・減災対策

取組み名	取組み内容	実施年度					担当
		R2	R3	R4	R5	R6	
防災・減災体制の構築	地区防災に関する体制やツールを整える	防災計画	対応検討	施行			防災計画策定委員会

人材の育成	中心となる人材の育成を図る						対応検討			+防災事業 実行委員会
-------	---------------	--	--	--	--	--	------	--	--	----------------

④ 地域コミュニティの危機

取組み名	取組み内容	実施年度					担当
		R2	R3	R4	R5	R6	
事業の見直し	多くの人に受け入れられる事業へ見直すとともに、その魅力をアピール、理解促進を図る			対応検討			事業改革委員会
人材の確保	人材を掘り起こすため、多様な人がかかわれるような体制づくりを構築する			対応検討			

※地域課題解決応援交付金（令和3年度から令和5年度の3カ年で上限250万円）の活用については、令和2年度に各取組み毎に事前検討し、予算措置を行う。

